

9月の消防広報重点事項

発行 平成30年8月9日
盛岡市危機管理防災課
編集 盛岡中央消防署

● 防災週間の実施について (8月30日から9月5日まで)

9月1日(土)は「防災の日」です。この日は、関東大震災が発生した日であるとともに、暦の上では二百十日に当たり、台風シーズンを迎える時期でもあり、地震や風水害に対する心構え等を育成するため、創設されました。

市民の一人ひとりが、身のまわりで起こりうる災害について考え、自分の命は自分で守るという「自助」の意識、また、自分たちの町は自分たちで守るという「共助」の意識を共有し、地域の防災力を高めましょう。

盛岡市では、8月31日に、『1分間で身に付く、防災意識。平成30年度盛岡市シェイクアウト』を実施します。場所や天候を選ばず、どこでもどなたでも参加できる訓練です。

※「シェイクアウト」は、地震災害を想定し、自らの身を守る安全確保行動をいいます。

参加の方法など詳しくは・・・盛岡市ホームページ(<http://www.city.morioka.iwate.jp/>)

【お問い合わせ】盛岡市 総務部 危機管理防災課

電話：019-603-8031 メール：shakeout@city.morioka.iwate.jp



● 敬老の日に「火の用心」の贈り物

近年の住宅火災による死者数は、65歳以上の高齢者が約7割を占めています。総務省消防庁では、「敬老の日に『火の用心』の贈り物」をキャッチフレーズに、「住宅防火・防災キャンペーン」を実施します。

このキャンペーンは、高齢者の方達の被害を減らすことを目的に、9月17日の「敬老の日」に、高齢者のお宅に設置してある住宅用火災警報器の作動確認や、寝たばこ防止やストーブ・ガスこんろの適切な使用などを呼び掛けたり、お子さんやお孫さんから高齢者に「住宅用火災警報器」、「住宅用消火器」、「エアゾール式簡易消火具」または「防災品」等をプレゼントしたりすることを推進するものです。

今年の「敬老の日」は、身近な防火対策を考える「敬老の日」にしてみませんか？



● 9月9日は「救急の日」です。

大切な命を救うため、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

近年、救急車の出動件数が急増し、現場に到着するまでの時間も徐々に長くなってきています。

緊急ではないのに救急車を要請すると、本当に救急車を必要とする事案が発生した場合、遠くの救急車が出動することになり、到着が遅れることで、救える命が救えなくなるおそれがあります。

- 傷病者の様子や事故の状況などから、急いで病院へ連れて行った方がよいと思ったときには、迷わず119番通報をしてください。
- 緊急性がなく自分で病院に行ける場合は、救急車以外の交通機関等を利用してください。

救急車は無料だから



● 盛岡市内の1月から7月までの火災件数

	平成30年	平成29年	比較増減
火災件数	22件	27件	5件減
死者数	2人	1人	1人増

● 平成30年7月中の火災7件の内訳

7月 1日	上堂三丁目	小型乗用車1台焼損、負傷者1名
7月 2日	上太田	電子オルガン、ソファ等焼損
7月 2日	上太田	非住家1棟ぼや
7月 2日	猪去	非住家1棟ぼや
7月 2日	上太田	非住家1棟ぼや
7月 6日	好摩	非住家1棟部分焼
7月18日	本町通一丁目	住家1棟ぼや、負傷者1名